

農業



令和2年9月号
会誌 No. 1668

目次

巻頭言

コロナ禍でみえた日本……………林 良博 3

論 壇

スモールスマート農業……………望月 龍也 4

春期中央農事講演会

新しい食料・農業・農村基本計画について……………三輪 泰史 6
—我が国の食と活力ある農業・農村を次の世代につなぐために—
質疑応答…………… 24

農事功績者座談会

高品質なオリエントユリの栽培とオリジナルケイトウ品種の
育成による明日香園ブランドの確立……………山口十美子 28
現地指導者のコメント……………河野 舞 35
意見交換…………… 36

研究の最前線

生育・収量予測ツールによる施設園芸の生産性向上……………東出 忠桐 45

農業・農村の現場から

旺盛なチャレンジ精神で小さなブドウ産地をけん引……………松本 敏一 54
—島根県大田市の有吉誠志氏のこだわり—

世界の農業は今

韓国における親環境農業のひろがり……………上西 良廣 60
—コウノトリのブランド米を事例として—

私の経営と志

新しい農業時代を創る……………荻野 隼一 66
—自分自身をブランディング—

統計情報

令和2年産一番茶の摘採面積，生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）… 68

農政情報

…………… 69
大日本農会だより…………… 70

編集部から…………… 65

ミニ情報

「2020年1-6月（上半期）の農林水産物・食品の輸出実績」について… 53

表紙写真説明

秋田県種苗交換会「菊」の展示風景（秋田県秋田市）

秋田県種苗交換会は1878年から続く，秋田を代表する農業の祭典です。過去最多の125万人が来場した2018年の第141回秋田県種苗交換会には，県内の生産者が手塩にかけた菊類154点が出品され，展示会場を彩りました。

県内の菊の生産を牽引するのが，「男鹿・潟上地区園芸メガ団地」です。20～40代の生産者8名がハウス24棟と露地約5 haで菊類を栽培し，秋田県種苗交換会で毎年多くの入賞を果たしています。お盆や彼岸を中心に11月頃まで出荷しており，2019年度には同団地から出荷された菊の販売額が1億円を超えました。花き農場としては全国で初めて農林水産省の「スマート農業実証プロジェクト」に参加し，作業の省力化や需要期の安定出荷を目指して，ICTを活用した圃場管理や収穫調整にも取り組むなど，次世代の大規模農業経営のモデル化も進めています。

（写真及び文：秋田なまはげ農業協同組合 企画管理部企画管理課 広報担当 進藤 更紗）